



\*ETK0943054C\*

# 小型後分岐クロージャ MJC-DAK<DR> 工法書

ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用下さい。  
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

## ▽ 安全上のご注意 ~安全にご使用いただくために必ずお守りください~

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

本クロージャに関する安全上のご注意	
<p><b>危険</b></p> <p>右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。</p>	—
<p><b>警告</b></p> <p>右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本クロージャは、落下などの無いように、確実に固定して下さい。</li> <li>架空での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご留意ください。</li> </ul>
<p><b>注意</b></p> <p>右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>刃物などのご使用時には十分に注意してください。</li> <li>本クロージャの組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。</li> <li>締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。水の侵入やケーブル及びクロージャの破損の原因となります。</li> <li>塩害地域では、ステンレス鋼でも腐食する場合があります。</li> </ul>
<p><b>お願い</b></p> <p>右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>光ファイバの配線は、許容曲げ半径15mm以上をお守りください。</li> <li>融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。</li> <li>本クロージャの解体・再組立・導入ケーブルの追加などの作業を行う際は別途、部品の交換が必要とする場合がありますので、事前に弊社・営業担当までご相談ください。</li> </ul>

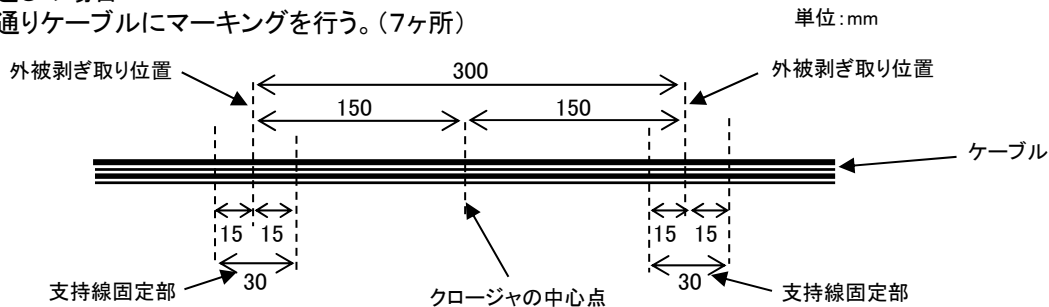
## ▽ 組立方法

**注記: ケーブル仕様によっては専用工具がございます。詳細は御利用のケーブルメーカーに御確認願います。**

### 1. 主ケーブルの処理

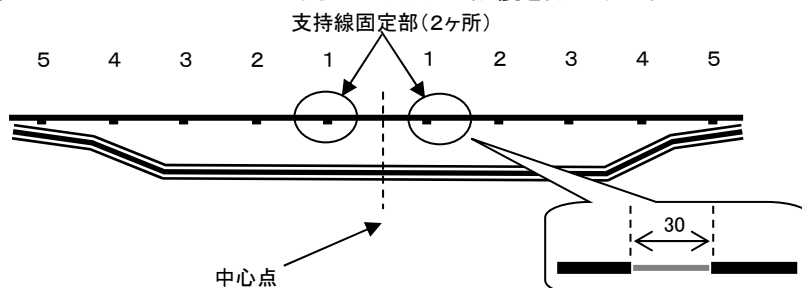
#### (1) 引き通しの場合

・下図の通りケーブルにマーキングを行う。(7ヶ所)



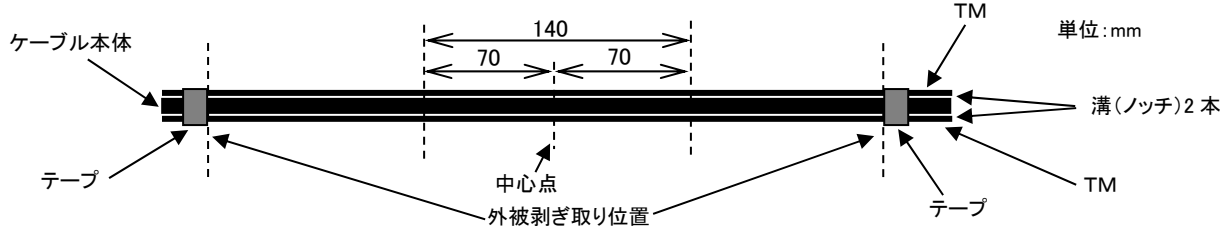
#### (2) 支持線の切り離し及び被覆除去

・クロージャの中心点(以下中心点)から左右に首部を5ヶ所以上切断する、また支持線を本体と切り離れた後、支持線固定部(最初にマーキングした30mm間の2ヶ所)の被覆を除去する。

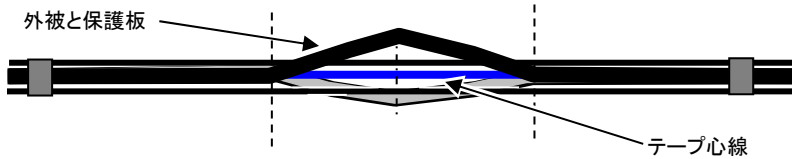


(3)ケーブル外被の処理

- ・ケーブル外被剥ぎ取り位置にテープを2回巻き付ける。(目的:外被の裂け過ぎ防止)
- ・住友電工製たるみ付少心架空ケーブルの場合  
ケーブルとテンションメンバ(以下TM)の間の溝(ノッチ)2本にニッパー(切れ味が良いもの)の刃を入れて本体とTMを約140mm切り離す。ケーブル本体に刃を入れないよう注意。
- ※ 推奨工具:穴付き45度ニッパー(切れ味が良いもの)  
その他のケーブルについては、各ケーブルに適合した専用の工法に従い外被剥ぎ取り作業をすること。

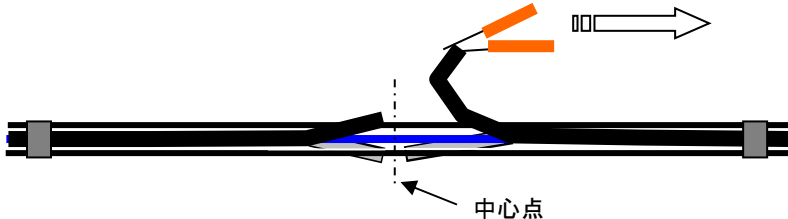


外被と保護板を上下に引き裂いて心線と分離させる。

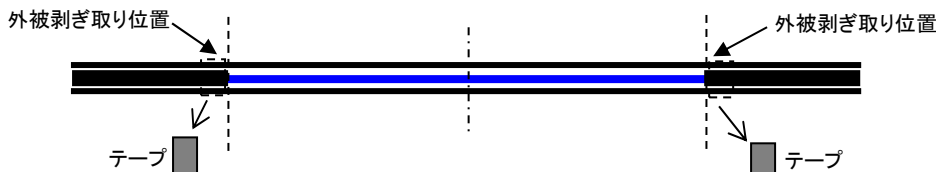


推奨工具

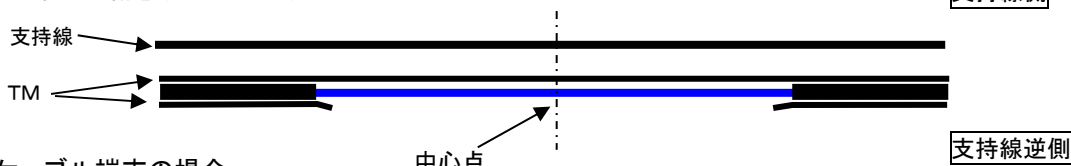
- ・クロージャの中心点にて外被と保護板を同時に切断して、その切断端をペンチにてしっかりと固定する(外被と保護板を同時に把持する)次にケーブル長手方向へまっすぐ引き裂く。(上下左右の4ヶ所)



- ・外被剥ぎ取り位置にて外被および保護板を切断しテープを除去する。

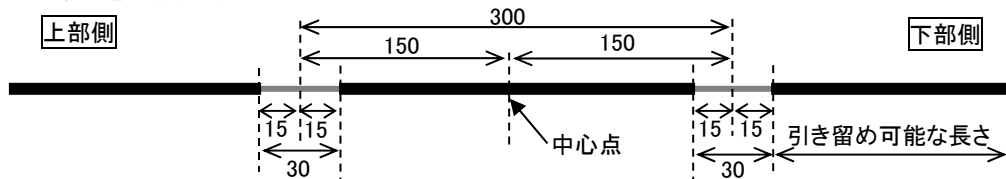


- ・支持線と逆側のTMのみを中心点にて切断して、TMを外被剥ぎ取り位置にて少し折り曲げ(心線への干渉防止)切断する。  
※支持線側のTMは切らずに残すこと  
※心線に外傷をあたえないように注意すること

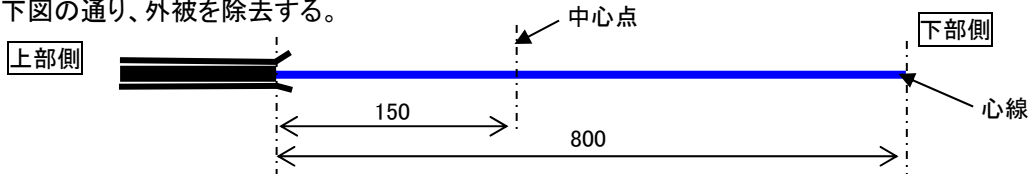


(4)ケーブル末端の場合

- ・ケーブルの支持線は、(1)にしたがいマーキングして(2)のように固定部分の被覆を除去する。下部側は引き留め金具で固定できる長さを確保する。



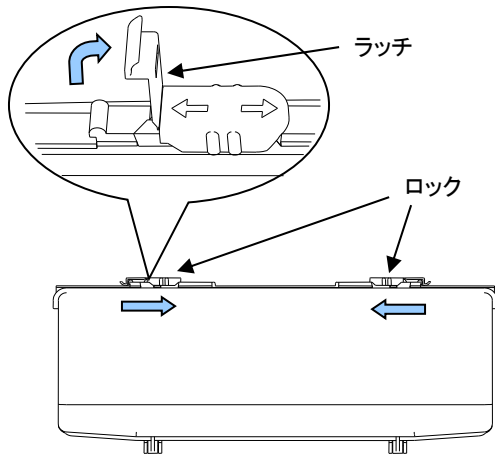
- ・下図の通り、外被を除去する。



## 2. クロージャ及び主ケーブル取り付け

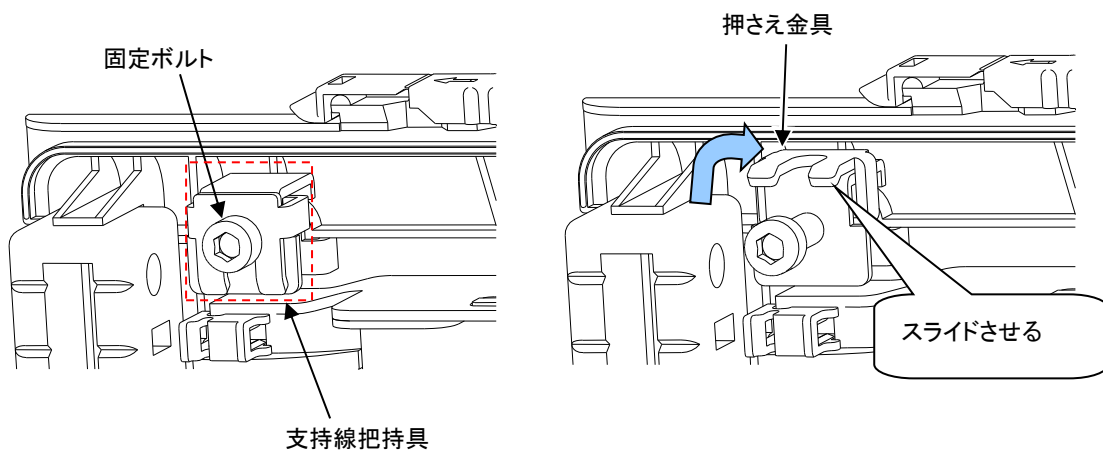
### (1) フタを開ける

- ・クロージャの上部 2 カ所のロックのラッチを外しクロージャ内側へスライドさせて、フタを手前に開く。

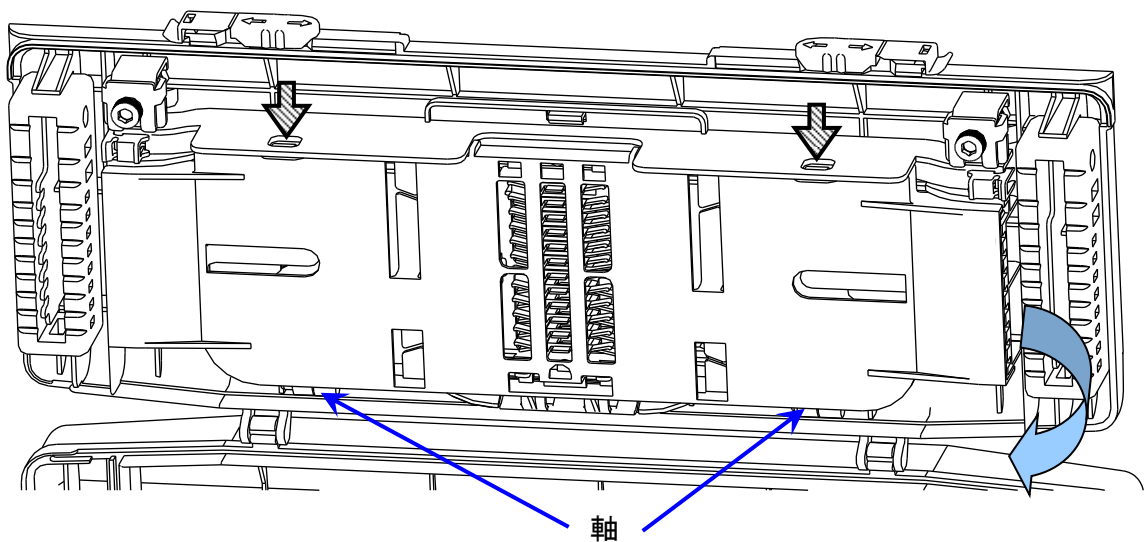


### (2) クロージャ取り付け

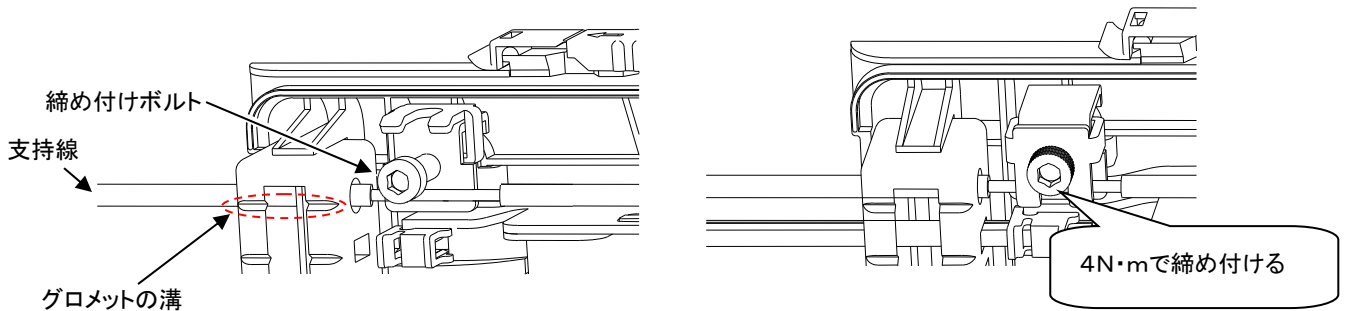
- ・クロージャの支持線把持具 2 カ所の固定ボルトを弛めて押さえ金具を上方向へスライドさせる。



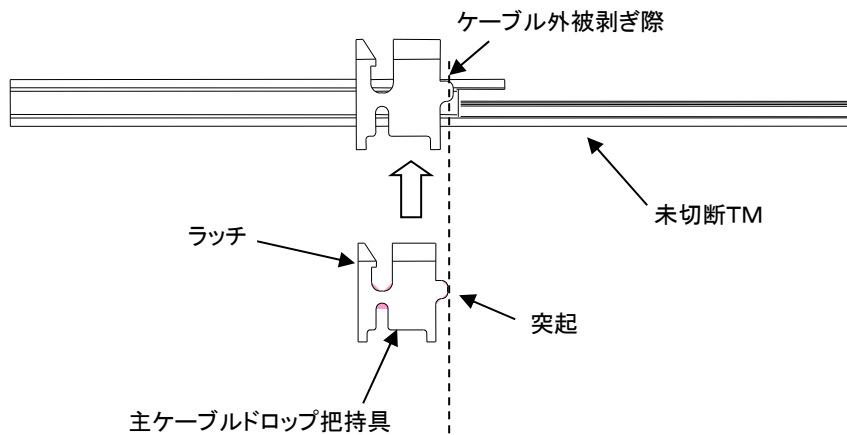
- ・増設トレイが有る場合はフレーム上部のラッチ 2 ヶ所を押し下げて増設トレイを手前にゆっくりと開く。



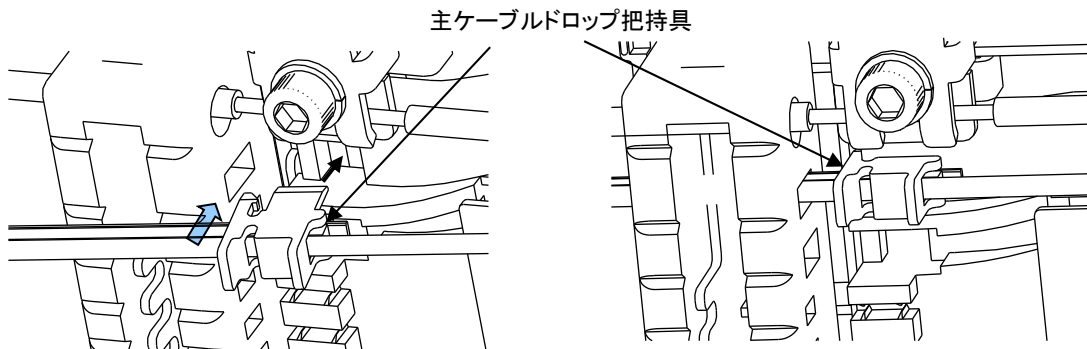
- ・支持線はグロメットの溝(下図破線部)に挿入して支持線把持具の締め付けボルトに掛けて押さえを元に戻す、クロージャとケーブルの位置を中央に合わせて最初に弛めた締め付けボルトを締め付けトルク4N・mで締め付ける。



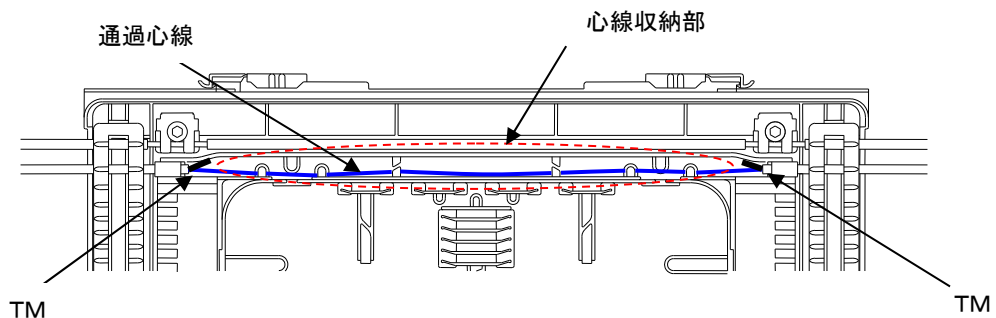
- ・主ケーブルドロップ把持具は下図の通り、突起の端をケーブル外被剥ぎ際に合わせて、切断していない TM 側からケーブルに挿入し取り付ける。



- ・主ケーブルをグロメットの溝に挿入したのち、主ケーブル把持具は把持具固定部の角穴に奥まで挿入してラッチを掛けてケーブルを固定する。その際TMは手前にたわませる。



- ・TMは中心点あたりで切断して外被剥ぎ取り位置にて少し折り曲げて(心線への干渉防止)切断する。  
 ※心線に外傷をあたえない様に注意すること！  
 ・主ケーブルの心線は心線収納部の押さえの内側へ配線する

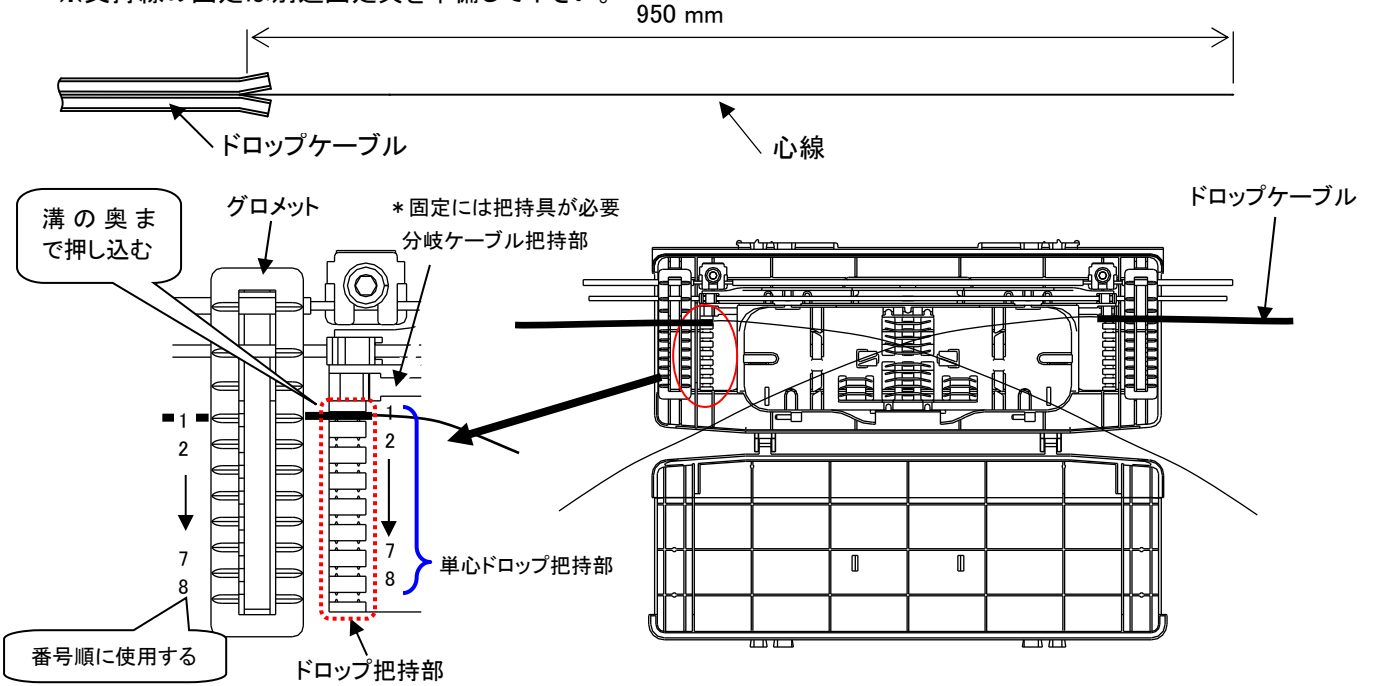


### 3. ドロップケーブルの導入及び配線

#### (1) ドロップケーブル導入

- ・ ドロップケーブルは支持線と本体を分離して本体のみクロージャ内に950mm以上引き込み、グロメットの溝に挿入してドロップケーブル把持部の溝の底まで挿入する。ドロップケーブルはドロップケーブル把持部から950mmに調尺する。

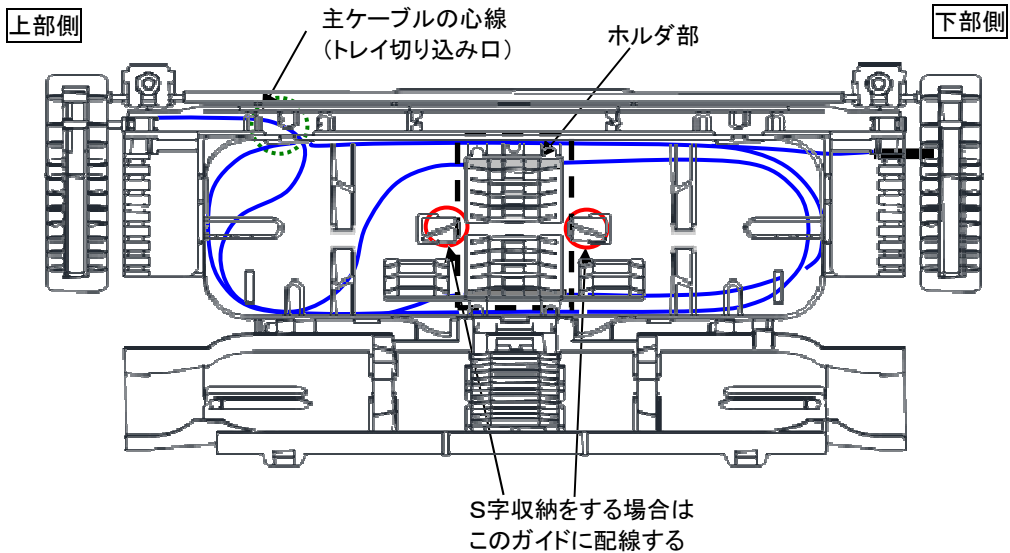
※支持線の固定は別途固定具を準備して下さい。



### 4. 主ケーブル心線の接続及び収納

#### (1) 心線接続と収納

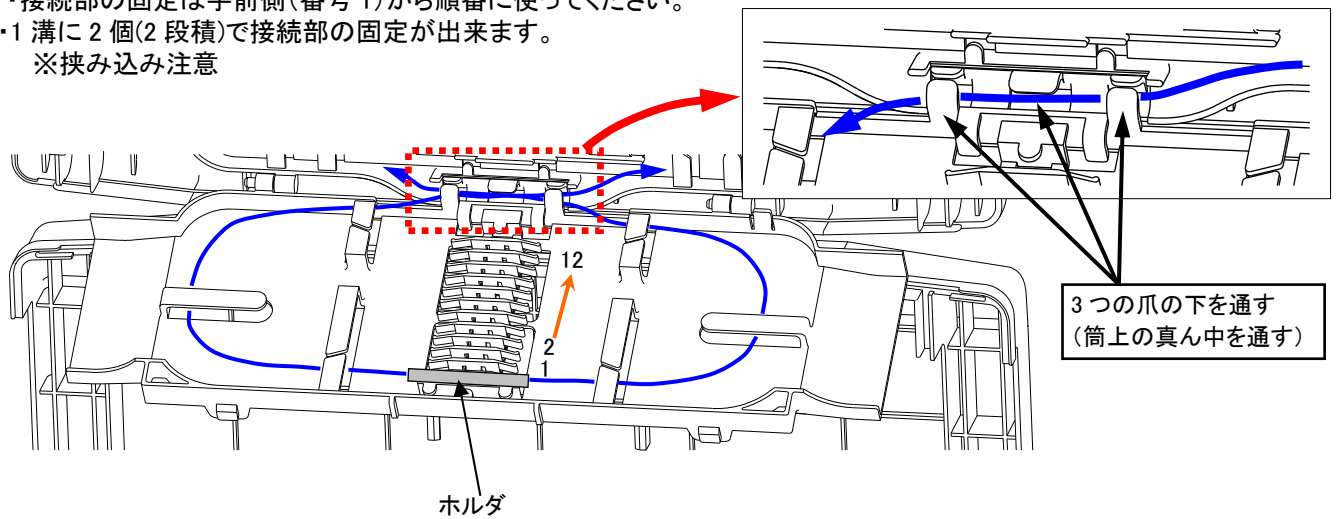
- ・ 主(通過)ケーブルの該当心線は単心分離をして外被剥ぎ取り際(下部側)にて切断する、次にドロップケーブルと融着またはメカニカルプライスにて接続を行い、接続部は余長収納トレイのホルダ部(下図破線部)に固定し、余長心線はR15以上を確保してトレイ内に収納する。



(2)増設トレイの使用方法

- ・下図の様なルートで配線を行い、中央部のホルダに接続部を固定してください。
- ・接続部の固定は手前側(番号 1)から順番に使ってください。
- ・1 溝に 2 個(2 段積)で接続部の固定が出来ます。

※挟み込み注意



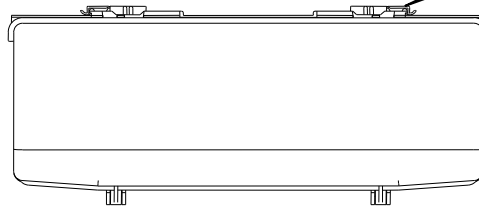
5. フタを閉じる

(1)フタを閉じる

本体とフタをしっかりと押さえながらロック(2ヶ所)を元に戻してラッチを固定する。

※フタは確実に閉めて、ロックのラッチが掛っていることを確認すること!

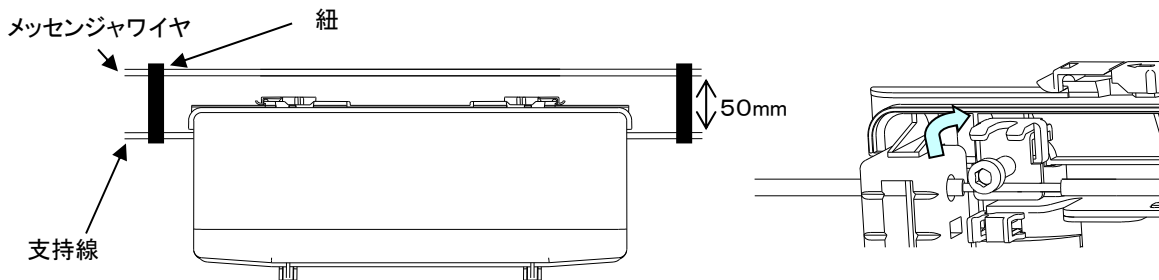
ロックよし



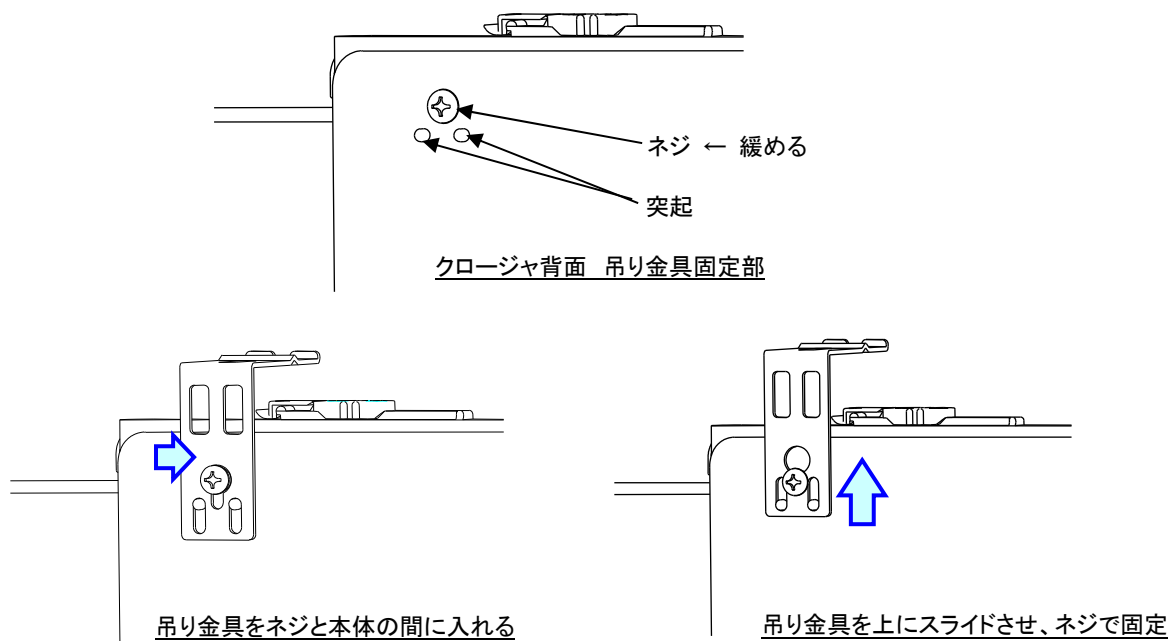
6. 吊り金具取付け

(1)吊り金具取り付け

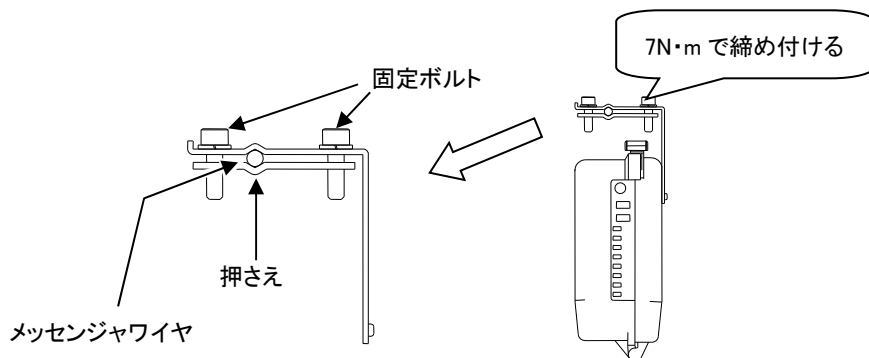
- ・吊り金具(オプション品)を準備する。
- ・下左図の通り、たるみ付き小径架空光ケーブルの支持線とメッセンジャワイヤーはクレモナ紐またはマジックテープにて離隔を 50mm にする。
- ・クロージャのフタを開けて、左右どちらか一方の支持線把持具の締め付けボルトを弛めて、押さえを上方向へスライドさせる。



- ・支持線把持具本体はクロージャ背面から固定されているネジ(トラスネジM5×14)を緩めてネジの頭と本体との間に1.5mm以上の隙間をつくってください。  
 ※緩めすぎて支持線把持具が取れてしまわないよう注意してください。



- ・メッセンジャワイヤへの固定は吊り金具の固定ボルトを弛めメッセンジャワイヤに掛けたのち、押さえの「く」の字中央に吊り金具の位置を合わせて最初に弛めた締め付けボルトを締め付けトルク7N・mで締め付ける。



- ・反対側の吊り金具も同様に取付けた後、既設の支持線を撤去してクロージャのフタを閉じる。  
 ※ネジ、ボルトは確実に固定して下さい。

以上